

資料1 提案書記載事項一覧及び評価基準

分類	No	項目名	記載内容	評価基準	配点
基本事項	1	基本方針	本業務実施の背景・目的を踏まえ、本業務の基本的考え方、方針、取り組み姿勢、他社と比較した優位点、効果（市内企業のデジタル化、労働生産性への影響等）について記載すること。	目的の本旨である市内事業者のデジタル化、労働生産性向上に資する提案であるか。	5
	2	実施体制・スケジュール	どのような体制及び人員で実施するのか、本業務へ実際に携わる者を記載し、その者の経歴・保有資格・本業務に関連する実績等、特記事項を記載すること。また、業務スケジュール、プロジェクト管理の方法を記載すること。	本事業の目的達成のため十分な実施体制が採られているか。また、リソース配分を含めた適切なスケジュールやプロジェクト管理方法となっているか。	15
	3	類似業務の実績	令和3年4月1日以降に、1回の契約で同時期に10社以上の中 小企業者のデジタル化に関して、業務課題整理と課題に沿ったデジタルツールの選定を含む伴走支援業務を、国、都道府県、又は市区町村から受注した実績を記載すること。 ※記載した各類似業務の契約書及び仕様書の写しを電子ファイルで提出すること。	契約書及び仕様書の写しをもとに、類似業務と判断できた業務の件数に応じて評価する。	5
	4	提案価格	本業務にかかる全ての経費について、詳細な項目、内訳、金額等を見積もること。	提案価格を相対的に評価する。	5
業務内容	5	支援対象企業の募集サポート	募集の周知及び応募促進に係る施策、本業務の説明会兼啓発セミナーの内容・形式（対面、オンライン、併用等）・開催時期等を具体的に記載すること。	本業務の認知・理解度を高め、応募企業の増加につながるものとなっているか。	10
	6	セミナー兼ワークショップの開催	支援開始時に行うセミナー兼ワークショップについて、内容やその狙いを具体的に記載すること。	業務課題の整理・分析手法、クラウドサービスの選定方法の基礎を支援対象企業が理解でき、その後の伴走支援に繋がるものとなっているか。	10
	7	クラウドサービス導入前支援	業務課題の棚卸、優先課題の特定・整理、クラウドサービス選定、定量的な指標の設定に関する支援の進め方のほか、コンサルティングの回数・頻度、形式（対面、オンライン等）について具体的に記載すること。	支援対象企業の業務課題に応じた適切なクラウドサービスを選定できる支援内容になっているか。	20
	8	ロードマップの策定支援	ロードマップの様式、支援対象企業での活用方法、策定支援の進め方について具体的に記載すること。	本業務終了後に支援対象企業の自走や継続的な改善活動の実施が期待できる支援内容になっているか。	10
	9	クラウドサービス導入後支援	ロードマップに基づいた効果測定、及び本業務終了後の自走に向けたフォローアップ支援の具体的な内容のほか、コンサルティングの回数・頻度、形式（対面、オンライン等）についても記載すること。	業務のデジタル化による生産性向上が図れるよう、クラウドサービスの活用状況を踏まえたロードマップの見直しが期待できる内容になっているか。	10
	10	最終成果共有会の開催	最終成果共有会について、内容やその狙いを具体的に記載すること。	支援対象企業間の相乗効果が期待できる内容になっているか。	10
合計					100